

# Lunares Research Station

©NPO法人日本火星協会

名称	Lunares Research Station
国籍及び場所	ポーランド
開発機関	Space is More
運用機関	Space is More
施設カテゴリー	<input checked="" type="checkbox"/> ヒューマンファクター・ <input checked="" type="checkbox"/> ハードウェアシミュレーション
体験可能な危険状態	<input checked="" type="checkbox"/> 船外活動・ <input checked="" type="checkbox"/> 隔離・ <input checked="" type="checkbox"/> 通信遅延・ <input type="checkbox"/> 明暗周期・ <input type="checkbox"/> 地球からの距離・ <input checked="" type="checkbox"/> 精神的ストレス・ <input type="checkbox"/> 重力 <input type="checkbox"/> 月・火星類似地形
施設概要 (開発年、規模、特徴等)	ポーランドの軍用飛行場にある有人宇宙ミッションシミュレーション用のアナログ研究ステーション。6人の乗組員用に月と火星を模擬した2週間のミッションが提供可能で、地球外での人間の長期滞在における影響に関する研究のための空間と乗組員の健康と行動を常に監視するインフラストラクチャを提供。250平方メートルのEVAエリアを有し、基地は、EVAエリアを含む環境から完全に隔離されている。参加費用は8150ユーロ(約24万円)。
施設関連画像	   
実施されたプログラム/ミッション	<p>パンダミッション- M01_Q1.21：心理的および身体的健康に対する隔離の影響を研究</p> <p>エンデュミオン（2019）：月面ミッション。乗組員の医学的および心理学的研究を実施し、特定の食事と定期的にアクセスできる小さな空間でグループの隔離の効果を確認</p> <p>HABETET-2：閉鎖空間におけるミツバチのコロニーの行動を分析</p> <p>Inauguration Mission 2019：居住地、新型装置、およびミッションプロトコルのテストを実施。</p> <p>Spectra Mission（2018）：2030年の月の架空の暗い月クレーターでのミッションをシミュレート</p> <p>ARES-III Mission（2018）：生物学的および医学的研究だけでなく、ミッション活動中の宇宙飛行士のパフォーマンスの改善と研究に焦点を当てた火星シミュレーション</p> <p>L. E. A. R. N Mission（2018）：チームの精神的および健康状態に対する特定の隔離要因と任務条件の影響に関するビッグデータを取得するための月面のティコクレーターでのミッション</p> <p>ICares-1：障害者が宇宙飛行士の仕事に関連する日常業務をどのように実行するかをテスト</p>
参照資料	<a href="https://lunares.space/">https://lunares.space/</a>